

\ コットン巾着をご希望の方は必ずお読みください /

コットン巾着と環境問題について

ベリービーでは「世界のパッケージをお洒落にする」という理念のもと、SDGsの実現に向けたサステナブルなパッケージづくりに取り組んでいます。

「コンタミ」とは？

コットン素材のパッケージはナチュラルな風合いと、繰り返し使用ができるという環境配慮の側面から、多くのブランドで採用をされています。そんなコットンには素材の製造工程から生まれる特徴があります。その一つが「**コンタミ**」(contamination)と呼ばれる異物の混入です。これは微細な規格外の繊維が生地に混ざる現象ですが、過度な品質基準の中では問題視されることがあります。



■ コンタミが発生する背景

コットンの原材料の綿は手作業で収穫・選別されるため、花弁の茶色い殻や、衣服由来の繊維が混入することがあります。これらは製造工程で細かくなりますが、小さな点や色のついた糸のように見える場合があります。環境への配慮からこの殻や繊維を脱色する化学処理を行っていないため、完全に取り除くことはできません。これが「コンタミ」と呼ばれる現象であり、**環境負荷の少ない製造の証でもあります。**

■ 環境配慮と品質基準のバランス

日本の繊維業界では、わずかなコンタミでもB品として廃棄される厳しい品質基準があります。これは規格外の農産物が廃棄される問題と似ており、**健康や使用に影響のない微細な「不純物」や「不揃い」まで排除される現状は、環境負荷の観点から見直しが求められています。**高い品質意識が製品を支えてきた一方で、持続可能性との両立が課題となっています。

コットン素材を選ぶ理由



コットン巾着は環境に優しい自然素材ゆえに製造過程で汚れや異物が混入しやすいことも事実です。もちろん、コンタミを除去した素材も流通しており、そういった生地を使用することも可能ですが、**ベリービーでは、この「コンタミ」もエコな選択の証と捉え、ナチュラルな素材の魅力を活かした商品の展開をしています。**